

『スポーツにおいて女子学生が経験する  
セクシュアル・ハラスメントの現状とその特殊性』

平成 14～16 年度 日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C）14594013）  
研究成果報告書

平成 17 年 3 月

研究代表者 吉川康夫

（帝塚山学院大学 人間文化学部 教授）

**【研究組織】**

平成 14～15 年度 研究代表者：熊安貴美江（大阪女子大学）  
 研究分担者：飯田貴子（帝塚山学院大学）  
 井谷恵子（京都教育大学）  
 太田あや子（武蔵丘短期大学）  
 吉川康夫（帝塚山学院大学）  
 研究協力者：高峰 修（中京大学）

平成 16 年度 研究代表者：吉川康夫（帝塚山学院大学）  
 研究分担者：飯田貴子（帝塚山学院大学）  
 井谷恵子（京都教育大学）  
 太田あや子（武蔵丘短期大学）  
 研究協力者：熊安貴美江（大阪女子大学）  
 高峰 修（中京大学）

**【交付決定額】**

（金額単位：千円）

	<直接経費>	<間接経費>	<合計>
平成 14 年度	1 7 0 0	0	1 7 0 0
平成 15 年度	1 1 0 0	0	1 1 0 0
平成 16 年度	7 0 0	0	7 0 0
総 計	3 5 0 0	0	3 5 0 0

**【研究発表】 <口頭発表>**

熊安貴美江「スポーツにおけるセクシュアル・ハラスメント研究の動向－海外の研究成果を中心に」 日本スポーツとジェンダー研究会秋季研究会 平成 14 年 10 月 14 日

熊安貴美江「スポーツにおけるセクシュアル・ハラスメント研究の視点と課題－海外の研究成果から」 スポーツ社会学会第 13 回大会 平成 16 年 3 月 27 日

高峰 修 「女子学生による“スポーツの場”におけるセクシュアル・ハラスメント認識の特徴－“スポーツ以外の場”との比較を通じて－」  
 スポーツ社会学会第 13 回大会 平成 16 年 3 月 27 日

吉川 康夫「なぜ“スポーツの場”ではセクシュアル・ハラスメント認識が甘いのか？  
 －774 部のアンケート自由記述から見えてくるもの」  
 スポーツとジェンダー研究会第 3 回大会 平成 16 年 7 月 3 日

高峰 修 「女子学生が“スポーツの場”において経験するセクシュアル・ハラスメントの特徴」  
 日本体育学会第 55 回大会体育社会学専門分科会 平成 16 年 9 月 24 日